

第97回一般質問一覧表

5.9.26

順位	氏 名	大 項 目	小 項 目 (要 旨)	答 弁
1	東野敏弘	「西脇市の教育の目指すべき方向」について	<p>(1)西脇市が目指している教育はどのような方向なのか、教育長の基本的な考えを問う。</p> <p>○西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議において、これまでの西脇市教育の総括、将来の西脇市の目指す教育の内容、方向性、地域との連携・協働等の学校運営が十分議論されずに、学校の適正規模をどう確保するのかという議論が先に進んでしまったのではないかと考える。本来、西脇市が目指す教育について、教育長の基本的な考えを問う。</p>	教育長
			<p>(2)西脇市立幼稚園・小学校・中学校には全国に誇れる教育の取組があったが、教育委員会は市内の学校園で進めてきた教育の総括を行って、学習環境規模適正化計画づくりを行われてきたのかを問う。</p> <p>(西脇市立幼稚園・小学校・中学校で取り組んできた素晴らしい教育実践があり、全国でも誇れる内容であった。)</p> <p>○市内8幼稚園は、自然とのふれあいを大切にした就学前教育を行い、「森の幼稚園」と呼ばれてきた歴史がある。</p> <p>○双葉小学校は、特認校として、少人数学級の良さを発揮し、一人一人の良さを生かす教育を実践しており、全国にも注目され都市部からの移住者も数多くおられた。</p> <p>○地域に根差し、地域に支えられた教育実践が行われてきた。双葉小学校の運動会、桜丘小学校の尚歯会、西脇小学校のおやじの会など。</p> <p>○今年、西脇中学校吹奏楽部は近畿大会で金賞に輝いている。中学校の部活動において、スポーツの分野・文化の分野で大きな成果を上げてきた歴史がある。</p>	教育長 部 長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			<p>(3)西脇市教育委員会が検討している小中一貫校の方向性を聞く。</p> <p>○検討会議や教育委員会で視察してきた小中一貫校は、どのような取組をされていたのか、目標とする市町はあったのか。</p> <p>○西脇市の目指そうとする小中一貫教育とはどのような内容なのかを問う。</p>	教育長 部長
			<p>(4)西脇市教育委員会が検討しようとしている「コミュニティ・スクール」の方向性について聞く。</p> <p>○検討会議の答申において、地域・家庭との連携・協働の項で、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）が挙げられている。西脇市教育委員会が検討しようとしているコミュニティ・スクールの方向性について聞く。</p> <p>○コミュニティ・スクールと小中学校の統廃合問題とどのような関係があるのか。コミュニティ・スクールを進めるうえで、地域との信頼関係が不可欠であるが、どのように考えているのか。</p>	教育長 部長
			<p>(5)「西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画（案）」による中学校3拠点化に伴う統合案を見直すべきと考えるが、市長の考えを問う。</p> <p>○令和8年度に黒田庄中学校を廃校にし、西脇東中学校に統合する計画案は、黒田庄地区住民の大きな反発を受けている。</p> <p>白紙撤回を求める署名は、短期間にもかかわらず5,667筆集められ、パブリック・コメントでも反対意見がほとんどである。</p> <p>○6月定例会で提案した「当面、西脇東中学校と黒田庄中学校は現状の校舎をそれぞれ活用し、オンライン授業やバス移動による合同授業、合同体育祭等の緩やかな統合を行い、将来的に2拠点化を目指すべきだ」と考えるが、市行政の考えを再度問う。</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
2	村岡栄紀	人口減少下における公共交通（JR）と学校	(1)現在の出生数から逆算して本市の全体の人口、子ども（15歳未満）、現役世代（15～64歳）、高齢者（65歳以上74歳未満）、後期高齢者（75歳以上）の10年後、20年後及びそれ以降の人口がどのように少子高齢化して減少していくことに対する本市の予測は。	部長
			(2)これからは小手先の少子化対策ではなく、少子高齢化を伴う人口減少を確実に起こる大きな地域課題としてしっかりと受け止め、それを織り込んだ施策や事業計画が急務になってくると考えるが。	
			(3)通学利用者の数も今後ますます減少すると思われるが、サイクルトレイン採用かつ鉄道存続に向けた市の見解と今後の取組は。	
			(4)通学用サイクルトレインにプラスして、JRが公共交通における重要なネットワークとして、高齢者の移動の受け皿となれば、少子化の影響を少しでも緩和できると考えるが。	
			(5)JR存続に向け、スポット的ではなく楽しみながら継続できるような企画を考えてみてはどうか。	
			(6)JRはこれまでのように「あって当たり前」という考えではなく、公共交通を実際に必要としている利用者の声に耳を傾け、地域の移動手段に適した手段への転換も含めて、どのように地域の公共交通を維持していくのか、その方策を地域の人たちとともに真剣に考えていく必要があると考えるが。	市長
			(7)少子化によって進む学校の統合で、影響を受ける子どもたちにとっての一番の課題は、通学距離や時間が長くなることだと考えるが、今後、公共交通機関やスクールバスで通学する児童・生徒がどれくらい発生すると予測しているのか。	部長

順位	氏 名	大 項 目	小 項 目 (要 旨)	答 弁
			(8)自宅からの通学距離や時間が長くなる低学年の児童等に対する精神的ケアはどのように考えているのか。	教育長
			(9)小中学校の再編にあたり、都市計画として人口減少対策の切り札として立地適正化計画を進めていくことに対する市の方向性は。	部 長
3	藤原秀樹	都市計画道路和布郷瀬線（南北道路）について	(1)権利者との合意について 令和5年度9月現在の権利者との合意は何パーセントか。	部 長
			(2)組合設立について いつ頃からどのように進めていく予定か。	
			(3)事業化などについて 今後、事業化などいつ頃からどのように進めていく予定か。	
			(4)南北道路について 現在の状況を踏まえて南北道路について市長の考えは。	市 長
		野良猫問題について	(1)野良猫問題の現状について 市内何か所か、西脇区はいつ頃から、何か所、何匹、餌やりなど現状は。	部 長
			(2)西脇市の対応について 環境課は西脇区にいつ頃から、何回、どのように指導し、なぜ結果なく悪化していくのか。	
			(3)ボランティアへの補助について 市内でこの件に関するボランティアをされている人を把握しているのか、西脇市は補助しないのかどうか。	
			(4)条例制定について この件を改善するには罰則付きの条例が必要かと思うがどうか。	
			(5)野良猫問題に関する市長の考えについて 一連の野良猫問題について住民は非常に困っている。この状態を市長はどのように思うか。	市 長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
4	森脇久夫	西脇市立学校学習環境適正化推進計画（本項では「計画」という。）（案）について	(1)黒田庄中学校廃校案の白紙を求める署名について 提出のあった署名に対する受け止めと考えを問う。	部長
			(2)計画の今後の進め方について 説明会、パブリック・コメントの意見等を受けての課題認識と計画推進に対する考え、また教育長辞任を受けての計画推進に対する考えを問う。	
			(3)今後の市政運営と計画への対応について 教育長辞任を受けての課題認識と対応、計画推進に対する考えを問う。	市長
5	高瀬 洋	童子山公園のリニューアル工事について	(1)公園施設長寿命化対策事業について 園路の整備や照明設備の取替え等を進めているが、不要樹木の伐採には使えないか。	部長
			(2)童子山公園の一部の樹木の伐採を求めるがどうか。 周辺の住民から一番多く寄せられる苦情はこの問題である。	
			(3)配水池設備の撤去時期について 童子山公園の山の部分の中心にあり、この工事が終わらないと公園全体のリニューアルが始まらない。	
			(4)配水池に市民が入れるようにできないか 眺めが良く市民には歓迎されると考える。	
		都市計画道路和布郷瀬線（南北道路）について	(1)工事に反対の理由にはどのようなものがあるのか。 住民の工事についての理解不足等がある場合には、継続したフォロー等も必要と思うがどうか。	部長
			(2)地主と居住者が同一ではない場合、どう扱うのか。また該当する物件はどれくらいあるのか 調査等に時間がかかる要因の一つと考え問う。	
			(3)90%というのはどういう数字なのか 市が目標としている数字であるため、その根拠を問う。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(4)住民の個別の事情に配慮した対応を望む高齢等の理由で一戸建てを望まない住民もいると思う。	部長
			(5)立地適正化計画の進捗と今後の思いについて 今回質問した公園、道路等の整備を含めたインフラ整備についての市長の考えはどうか。	市長
6	藤原桂造	「祭り」や「イベント」の充実で西脇を元気に	(1)阿波踊りの「連」や北海へそまつり（本市で言えば昭和の時代の織物まつり）のような踊りの輪の中で市民が一体となれるような、夏祭りの開催はできないものか。	部長
			(2)市政10周年記念事業として開催した「にしわきストリートフェスティバル」の復活について	
			(3)地域に山積している問題の解決に向けた多様な力が「祭り」や「イベント」にはあり、人口減少していく本市を元気にするものと考えているが、祭り、イベントの充実に対する市長の思いは。	市長
7	藤原哲也	带状疱疹ワクチン接種助成を	(1)市民から带状疱疹に罹患した、痛みが残ったなど訴えを聞くが、西脇市の带状疱疹発症率や带状疱疹患者数の推移は。	部長
			(2)どのような方が带状疱疹にかかりやすいなど分かっているか。また、本市における罹患者数は。	
			(3)薬代や診療の費用など、直接的な医療費がかかっているのか。	
			(4)早期に治療を開始すれば痛みが残りにくいそうだが、どの程度の方が早期に治療されているのか。	
			(5)早期発見し、早期治療するために市では何か取り組んでいるのか。	
			(6)带状疱疹予防ワクチンの助成を求める。	市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
8	岸本年裕	2025年大阪関西万博との西脇市の連携について	(1)万博会場でのPR 西脇市の特産品や観光スポットの紹介などをする予定はあるのか。会場でのPRができない場合、体験や参加のワークショップなどは行うのか。	部長
			(2)万博来場者が西脇市へ訪れる機会を増やす計画 周遊ルートを開発するなど、西脇市はどのような取組を進めるのか。	
			(3)日本へそ公園の活用 万博来場者に日本のへそやへそ公園のプロモーションはできないのか。万博期間中にイベントやキャンペーンはできないのか。地域にも良い影響をもたらす拠点としてへそ公園を整備していくことは考えられないのか。	
			(4)産業振興との連携 企業や研究機関との連携を深めるための施策やイベントの開催を予定しているのか。	
			(5)万博を契機としたまちづくり 万博の機運醸成をどのように図っていくのか。また、万博を契機とした地域の活性化をどのように進めていくのか。	市長
9	寺北建樹	西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画（案）について	(1)黒田庄地区における3回の説明会に対する市長の感想、思いは。	市長
			(2)市長と推進計画（案）の関係について改めて聞く。第三者なのか、当事者なのか。	
			(3)新市誕生以降、先人が努力してきた住民融合が最大の危機にあると思うが、市長の考えは。	
			(4)検討会議は、様々な形で住民・関係者の意見を聴取する機会を設けてきたが、推進計画（案）を作成するにあたっては、一切、市民の声を聴取する機会を設けてこなかったことを市長はどう考えるか。	
			(5)西脇東中学校を活用施設とする推進計画（案）を凍結し、地域住民・保護者・子どもたちをはじめとする関係者の意見を十分に聴取する中で、適切妥当な結論を導き出すべきではないか。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
10	杉本佳隆	起業支援について	(1)起業希望者への補助を行っているが、ここ数年間の件数、業種、採択状況は。	部長
			(2)本市が支援する業種やターゲットはどのように設定しているのか。	
			(3)起業創業者の成功事例や廃業、休業等の現状は。	
			(4)廃業の場合、補助金の取扱いはどうなるのか。	
			(5)「みらいえ」で女性起業相談を行っているが、女性以外の若者やシニアなどにも起業支援は考えられないのか。	
			(6)起業者を増やすためや、起業したい人への支援策は。	
			(7)起業者を増やしていくことで、本市にもたらす影響を良い影響と考えるなら、支援策をさらに充実させていくのか、どういった施策が考えられるのか。	
		消費者トラブルについて	(1)トラブルに巻き込まれやすい高齢者や若年層の相談件数は。	部長
			(2)消費者センターで解決できることが大事であるが、解決できない場合は、別の機関にきちんとつないでいくことが大切であると考えているがどうか。	
			(3)トラブル発生への対応だけでなく、トラブルの未然防止という観点から市民への消費者教育は重要だと考えるがどうか。	
			(4)成人年齢の引き下げに伴い、社会経験の少ない若年層に対する啓発の取組、小中学校から成人になる直前の高校生への消費者教育が大事だと考えるがどうか。	
			(5)高齢者については、福祉部門とも連携した対策が必要ではないか。	
			(6)消費者センターの相談員への相談内容について情報提供やアドバイス、事業者との交渉の結果の成功事例を聞く。	
			(7)被害が多い世代などへの消費者教育の推進について。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
11	坂部武美	LGBTQ、SOGIに関する取組について	(1)現在の取組状況は 教育委員会は、来年度から中学校の制服のブレザーはジェンダーレスに配慮するとともに、スカートやスラックス等が自由に選べるなど男女差のないものを導入することとしているが、行政全体として現在の取組状況と今後の目指すべき方向をどのように考えているのか。 (2)パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入について ①令和2年3月議会で、市営住宅の入居要件について、パートナーシップ制度が無くても入居申込が可能かどうかについて研究するとのことであったが、現在の状況は。 ②パートナーシップ・ファミリーシップ制度を導入すべきと考えるが、見解は。	市長 教育長
		審議会等への女性委員の登用について	(1)審議会等における女性委員登用の現状と今後について ①第3次西脇市男女共同参画基本プランでは、審議会等における女性委員の登用率を40～60%と定めているが、なぜ40～60%なのか。 ②女性委員の登用率は伸びているのか。 ③なぜ、40～60%を達成できないのか。 ④どのようにして達成するのか。	市長
		西脇市教育の目指すべき方向について	(1)西脇市教育の目指すべき方向について 教育長が思う学校教育、社会教育の現状と今後の目指すべき方向は。	教育長
12	高瀬弘行	「中小事業者物価高騰対策事業」の拡充について	(1)昨年の8月補正「中小事業者原油価格等高騰対策事業補助金」について ①対象企業と申請数について ②予算と比べて、決算が少なかったのは、個々の事業者の申請額が少なかったのか（物価高騰の影響が少なかったのか）、それとも申請数が少なかったのか。（4年8月の補正予算85,500千円、決算46,138千円） ③事業継続期間に、補助対象者と補助対象期間を拡大し、合わせて、申請期限の延長も行っているが、その背景は。	部長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			<p>(2)今年の6月補正「中小事業者物価高騰対策事業」について</p> <p>①補助対象者と補助対象経費は。 昨年の決算状況を踏まえての改善点（変更点）などは。</p> <p>②現状の申請数と申請の補助額は。</p> <p>③近隣の他市で同様の事業を実施している自治体は。</p> <p>④上記自治体における補助対象者は。</p> <p>⑤上記自治体における補助対象経費は。</p>	部長
			<p>(3)燃料費と光熱費の3か月の合計金額が30万円未満の零細事業者も補助対象者とするように、本事業の拡充を求める。</p> <p>①補助対象者を「連続する3か月の合計金額が30万円以上」とした理由について（他市ではこのような要件がないのでは）</p> <p>②現在の要件「連続する3か月の合計金額が30万円以上」により、補助対象者とならない事業者の声などを伝えた上で、上記要件の変更を求め、本事業の拡充を求める。</p>	市長
13	吉井敏恭	歩道の植栽帯と街路樹について	<p>(1)植栽帯の除草について 歩道の植栽帯の手入れについて、景観を損なうほど雑草が繁茂している状況を、どう受け止めるのか。</p> <p>(2)街路樹の課題について 植栽帯の縁石をはみ出るほどに成長した街路樹。歩道に止まらず根上がり車道にも及んでいる。この状況をどう受け止めているのか。</p> <p>(3)今後の植栽帯と街路樹の在り方について 20路線を超える市道で、延長約20kmに約1,400本の街路樹が存している。計画的に削減を図るべきと考えるが、今後の在り方を問う。</p>	部長
				市長

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
14	村井正信	インクルーシブ教育と特別支援教育の在り方について	<p>文部科学省が平成29年3月に作成した「発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する教育支援体制整備ガイドライン」がある。ガイドラインに沿って西脇市における特別支援教育の現状を聞き、課題解決を目指す。</p>	
			(1)教育委員会において特別支援教育に関する基本的な計画は策定しているのか。	教育長
			(2)教育・医療・保健・福祉・労働等の関係部局、関係機関との連携協力を円滑にするためのネットワークの構築としての特別支援連携協議会は設置しているのか。	
			(3)教職員に対して、障害に対する理解や特別支援教育の内容についての知識の涵養に努めていくことが重要とあるが、研修はどのように行われているのか。	
			(4)教育委員会に「専門家チーム」の設置を求めているが、設置しているのか。	
			(5)学校設置者が主体となって、地域住民等に対し、特別支援教育に関する理解啓発を図るとあるが、啓発を図っているのか。	
			(6)児童等の実態把握を行い、学校全体で支援する体制を整備するとあるが、児童の実態把握は行われているのか。また、特別支援教育に関する校内委員会は設置しているのか。	
			(7)特別支援教育コーディネーターを指名し、校務分掌に明確に位置付けるとあるが、指名しているのか。	
			(8)通級担当教員、特別支援学級担任については、特別支援学校教諭免許状の取得を促進するように努めるとあるが、現状は。	
			(9)特別支援教育支援員の活用を勧めているが、特別支援教育支援員は何人いるのか。教育委員会としては、特別支援の必要な児童生徒に対して支援員は充足していると考えているのか。	
			(10)文部科学省は、教育と福祉の連携の充実として「学校は、放課後等デイサービスや保護者との日頃からの連携のための工夫」を求めている。連携は積極的に行われているのか。	

順位	氏名	大項目	小項目（要旨）	答弁
			(11)不登校にある児童生徒の学校外の公的機関や民間施設に通う場合の出席の扱いについて、その基準を聞く。 特に中学生の場合、高校受験時に出席日数が大きな課題になるので、学校外の公的機関や民間施設と積極的な相談を行い、児童生徒の気持ちに寄り添った「一定の要件」とすることを求める。	教育長
15	浅田康子	子どもの命を守る	(1)乳幼児突然死症候群について ○乳幼児期の死亡原因が高いSIDSの病気に対して、市はどのような取組をしているのか。 ○11月はSIDSの対策強調月間である。啓発事業などの計画は。 (2)虐待防止の体制について ○過去5年間の相談件数の推移。 ○数字が示す現実をどう捉えているのか。 ○市の組織や体制の充実が重要である。警察との情報共有の状況は。 (3)骨髄等移植ドナー助成事業について ○骨髄等移植ドナー助成事業の詳細を聞く。 ○兵庫県内で制度に登録している自治体は。 ○骨髄等移植ドナー助成事業に登録の考えは。	部長
		グローバル人材を育成する教育行政について	(4)○市独自の英語教育が実施されている。この事業の狙いと、事業の実績を問う。 ○英語の指導力の向上をどのように図っていくのか。 ○特徴ある教育を学校現場、先生が主体的に展開していける政策をどのように創り出し、充実していくのか、これまでの10年間の振り返りを含め、教育長に問う。	教育長